

名古屋大学
 国語国文学
 105

2012年11月

高橋亨教授退職記念号

高橋亨教授 略歴・著述目録・講義題目

- 『うつほ物語』の和歌における表現の方法—好忠・順歌との共通語彙を中心に—
 内藤英子 (23)
- 紫の上と〈手習〉 亀田夕佳 (37)
- 雲隠六帖「雲隠」考—その表現に見る成立事情 咲本英恵 (49)
- 延慶本『平家物語』の女人往生—善知識の視点から— 横山知恵 (67)
- 『西行物語』の享受方法—岡部における西行西住伝承— 蔡 佩青 (83)
- 玖也から芭蕉へ—『道の記』と『おくのほそ道』の連関性— 山田和則 (99)
- 折口信夫「身毒丸」の女人—源内法師の「龍女成仏」 永井真平 (115)
- 〔資料紹介〕茨木のり子・永瀬清子・杉浦明平、埋もれていた愛知の文学資料の発掘
 —『愛知県史 資料編35 近代12 文化』の刊行— 熊谷誠人 (133)
- 日本語社説の文章構造における統括性—提題表現と叙述表現に注目して—
 Didik Nurhadi (166)
- 上代における終助詞カの意味変化とカ文の構造変化 小出祥子 (182)
- 回想文 塩田公子・乾 澄子・安藤徹 (183)
- 書評 高田信敬著『源氏物語考証稿』 加藤洋介 (193)
- 愛知峰子著『樋口一葉 真情を見つめて』 甘露純規 (201)
- 甘露純規著『剽窃の文学史—オリジナリティの近代』 高橋昌子 (207)
- 坪井秀人著『性が語る—二〇世紀日本文学の性と身体—』 飯田祐子 (215)
- 新刊紹介 李 在鏞・横山知恵・咲本英恵・笹田将樹・亀田夕佳 (223)

名古屋大学

国語国文学会

編集後記

本年四月より前任者の高橋亨教授から編集担当を引き継ぎました。よろしくお願いたします。論文九編、報告一編掲載することができました。多彩な内容で評価のほどが期待されます。私の専攻は日本語学ですが、学界展望号などでは、本論集に掲載された論文がしばしば取り上げられて高い評価を受けており、展望担当者からの注目度の高さが想像されます。日本文学の論文もおそらく同じ評価を得ているはずで、執筆者の努力に敬意を表します。今後とも良質の研究を発信して行きたいと思しますので関係各位のご協力をお願いいたします。

(釘貫 亨)

名古屋大学国語国文学 第百五号

印刷 平成二十四年十一月十日

発行 平成二十四年十一月十日

編集 名古屋市千種区不老町

名古屋大学文学部内

名古屋大学国語国文学会

(代表) 釘貫 亨

〈振替 00860-0-19333〉

TEL (〇五二) 七八九―二二四二

内線二二四二

印刷所 名古屋市西区那古野一―二―一四

株式会社 カ ミ ヤ マ

TEL (〇五二) 五六五―一一一八